

めいろ さぬき
迷路でめぐる讃岐のええところ その②

銭形砂絵
(観音寺市)

明浜の白砂に描かれた「寛永通宝」は、東西122m南北90mもある巨大な砂絵で、琴弾山山頂から見るときれいな円形に見える。寛永10年(1633年)高松藩主・生駒高俊公を歓迎するために一夜にして作られたといわれる。この銭形を見れば健康で長生き、しかもお金に不自由なくなると伝えられ、多くの人がこの地を訪れている。

